

# 大志を育む

平成30年9月27日



教育委員会だより

No. 24

発行：北広島市教育委員会

## 自発的・主体的な成長への支援のための生徒指導

学校教育課 指導主事・高秀 愛司

学習指導要領に定められているように、生徒指導は、一人一人の児童生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めるように指導・援助するものです。学校がその教育目標を達成するための重要な機能の一つであり、児童生徒の人格の形成を図る上で、大きな役割を担っています。しかし、とすれば学校における生徒指導が、問題行動等に対する対応にとどまる場合もあります。そこで、わかりやすく解説されている資料を紹介し、あらためて「生徒指導」理解の一助になればと思います。

### 生徒指導とは、

『生徒指導リーフ1』(国立教育政策研究所生徒指導センター)より

生徒指導とは、社会の中で自分らしく生きることができ大人へと児童生徒が育つように、その成長・発達を促したり支えたりする意図でなされる働きかけの総称のこと。すなわち、学校生活の中で児童生徒自らが、その社会的資質を伸ばすとともに、さらなる社会的能力を獲得していくこと(社会性の育成)、そして、それらの資質・能力を適切に行使して自己実現を図りながら自己の幸福と社会の発展を追求していく大人になること(社会に受け入れられる自己実現)、そうしたことを願って児童生徒の自発的かつ主体的な成長・発達の過程を支援していく働きかけのことを、生徒指導と呼んでいる。

- ◆ 児童生徒が自発的かつ主体的に自己を成長させていく過程を、支援する。
- ◆ 集団や社会の一員として自己実現を図っていく大人へと育つよう、促す。

例えば、こんなことも生徒指導・・・様々な学校場面で何げなく行われている働きかけの多くは、児童生徒の成長・発達を促したり支えたりする生徒指導の働きかけのほずである。以下いくつかの例が『生徒指導リーフ1』では示されている。

**登校時や授業の場面では** 登校時の朝のあいさつに始まり、始業時のあいさつ、終業時のあいさつなどを促す。始業開始とともに着席すること、正しい姿勢で机に向かって学習すること、教師やほかの児童生徒の話に積極的に耳を傾けること、自らも積極的に考えたり発言したりすること、・・・などを指導する。授業中に、教科の授業を通して獲得した知識や技能を、どう活用したら自分や周りの人々が幸せになるかを思い描かせる。学校の教育目標や、学年・学級のめあて、校訓や建学の精神等によって目指すべき人間像を示す。



**道徳教育や特別活動、キャリア教育などの場面では** 自己の言動や生活態度をより好

しいものに高めるよう問いかけ、見つめ直させる。友人関係について考えてみたり、異なる世代の人と積極的に交流したりする機会や場を与えて進んで活動させたりする。将来のために、今、何をすべきか論じたり、自分の生き方や将来の職業について思いを巡らすよう示唆したりする。

**特別支援教育や教育相談の場面では** 他人に迷惑をかけるような行為を心ならずも行ってしまふ児童生徒に向き合い、学校や社会にうまく適応が図れるよう配慮する。自分自身について悩んだり、人間関係に傷ついたりした児童生徒を受けとめ、次の一步を踏み出せるよう支えていく。

- ◆ ふだんから、当たり前のように行っている児童生徒への働きかけのほとんどは、十分に自覚されていないだけで、実は生徒指導。
- ◆ 児童生徒の成長・発達を促したり支えたりする意図でなされる働きかけという明確な自覚を持ち、適切に行っていくことが大切。



**問題行動等への事後対応の場合でも**・・・いじめや暴力行為の事後対応、学校を休みがちな児童生徒への対応などは、もちろん、生徒指導の働きである。その際にも、社会に受け入れられる自己実現や社会性の獲得を促す働きかけが重要である。

**日々の注意や非行防止の場面では** ほかの児童生徒の学習を妨げたり、学級や学校の約束を守らなかったりした際には厳しく注意し、「悪いことは悪い」と伝える。自他に対して危害をもたらすような行為について知らせ、問題を回避できるよう促す。

# 大曲中学校区 小中一貫教育の取り組み

文責 大曲中学校 主幹教諭 柳本 環樹

## <はじめに>

大曲中学校区（大曲小・大曲東小・大曲中学校）では年間を通じ、小学生と中学生、小学校教職員と中学校教職員がそれぞれに交流を大切にしながら小中一貫教育の輪を推し進めています。

## <各活動での児童・生徒交流>

各校の年間の各種行事や、児童会活動や生徒会活動をリンクさせ、お互いの活動に参加し、相互に協力し合い活動を行っています。

### ♪ 校区内清掃活動 ♪

大曲中学校生徒会が主催し、地域貢献の一環として行う「地域清掃」に大曲小児童会・大曲東小児童会の役員が参加し、各小学校周辺の清掃活動を行っています。報道機関の取材を受けるなどして地域内外にも発信されています。



## <長期休業中の学習会>

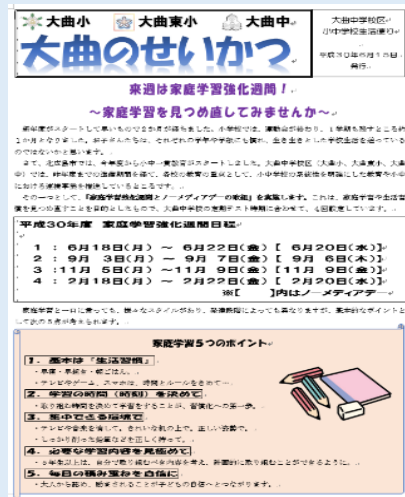
今年度初めての取り組みとして、大曲中学校の長期休業中に行われている「夏休み学習会」において「小学校算数コース」を開設し、小学校の先生方に講師をお願いし実施しました。中学校数学の基礎となる「算数」でのつまずきを発見し、解消しようと多くの生徒が参加しました。



生徒の反応も大変よく、「わかりやすかった」「苦手な部分がわかった」等の好意的な意見が多く聞かれました。

## <校区共通の生活だより>

本校生徒指導部が中心となり、学期の節目や季節の節目で校区共通の「生活だより」を発行し、校区内での共通理解や、地域と一体となった子どもたちの見守りにつなげる取り組みを行っています。



## <中学校区ノーメディアデー>

中学校の定期テスト等に合わせ、「家庭学習強化週間とノーメディアデーの取り組み」を実施しています。家庭学習や生活習慣を見つめ直すことを目的としたもので、6月・9月・11月・2月の4回を設定しています。

## <家庭学習5つのポイント>

1. 基本は生活習慣
2. 学習の時間（時刻）を決めて
3. 集中できる環境で
4. 必要な学習内容を見つめて
5. 毎日の積み重ねを自信に

小学生も中学生も、まずは「わずかでも机に向かう時間を決めて取り組む」ことが、習慣化への第一歩です。また、初めから無理な目標を定めないことも、継続のポイントです。こういった観点から校区内で家庭学習の5つのポイントを策定し、共通理解を深め、義務教育9年間を見通した学習習慣の習得と定着を目指しています。